

J A グループ宮城 災害復興ニュース (総合版)

第 9 1 号

【平成 28 年 8 月 3 日 (水) 発行】
発行：J A グループ宮城災害復興本部
編集：J A 宮城中央会
〒980-0011 仙台市青葉区
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F
電話番号：022-264-8207
FAX 番号：022-216-4466

《目次》

1. 農林中金が㈱やまもとファームみらい野の設備投資を支援
2. 熊本地震の被災地復旧を支援、J A グループ宮城の募金総額が約 900 万円に
3. 宮城県 J A 農機担当者連絡協議会と県系統農機メーカー連絡協議会が熊本に義援金
4. 震災復興支援イベントで「みやぎの環境保全米」を P R
5. 県内 5 J A の青年部が「農魂祭」。農業復興と消費者へ感謝の思い伝える
6. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第 59 次請求

1. 農林中金が㈱やまもとファームみらい野の設備投資を支援

農林中央金庫は 7 月 28 日、J A みやぎ亘理が出資して設立した山元町の農業生産法人(株)やまもとファームみらい野を支援するため、地域復興プロジェクト支援事業の贈呈式を山元町で開きました。

同社は、東日本大震災の津波被害を受け、町外に移転せざるを得なくなった農



贈呈式に参加した関係者 (山元町で)

家らの農地を引き受け、約 112 畝と東北最大規模の園芸栽培を行う予定で、現在は、タマネギやサツマイモ、長ネギなどを作付けしています。被災農地の再生には、土づくりが重要となることから、農林中金は除草機や肥料散布機、トラクター、灌漑装置など計 47 台の導入費用、総額 5,000 万円を助成します。農林中金の後藤彰三常務は「ほ場整備後の農地は、雑草の繁茂など被災地固有の課題がある。作業の省力化を図り、効率的な営農で復興を後押ししたい」と話しました。

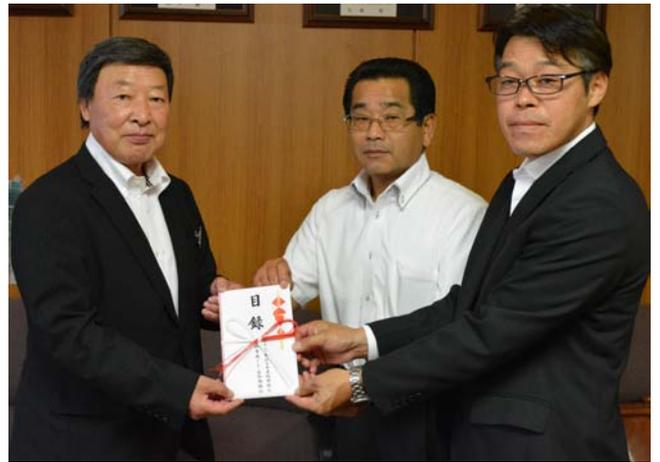
2. 熊本地震の被災地復旧を支援、J A グループ宮城の募金総額が約 900 万円に

熊本地震の被災地復旧を支援しようと、J A グループ宮城が行ってきた募金運動の総額が、864 万 2,797 円となり、7 月 1 日に J A 全中へ送金しました。募金運動は、一口 100 円を目安に、J A 役員・管理職は 10 口以上、組合員・一般職員は 5 口以上とし、J A 窓口に募金箱を設置し幅広く募金を呼び掛けてきました。J A グループは、第 1 陣、第 2 陣と支援隊も派遣、現地の要請に基づいて農作業などを支援してきました。

3. 宮城県JA農機担当者連絡協議会と県系統農機メーカー連絡協議会が熊本に義援金

宮城県JA農機担当者連絡協議会と宮城県系統農機メーカー連絡協議会は7月27日、チャリティーオークションの売上金約15万円を、JAグループ宮城を通じて熊本地震の義援金として贈りました。オークションは、6月に利府町で行われた「JAグループ 担い手営農支援ビッグフェア2016 in 宮城」で実施しました。

県JA農機担当者連絡協議会の小野寺幸記会長と県系統農機メーカー連絡協議会の稲田定吉会長が、JA宮城中央会を訪れ、三浦口也副会長に手渡しました。三浦副会長は「いろいろな方々の思いを込めて、熊本に贈ります」と語りました。



三浦副会長に目録を渡す稲田会長Ⓜと小野寺会長Ⓜ

4. 震災復興支援イベントで「みやぎの環境保全米」をPR

JA宮城中央会は7月30・31日、仙台市の勾当台公園などで開かれた震災復興支援イベント「TBC（東北放送）夏まつり」で、おにぎりをチャリティー販売し、「みやぎの環境保全米」をPRしました。

2016ライシーレディの猪股真衣さんも参加し、おにぎり2個入り（100円）を、100パックずつ、2回に分けて販売。2回とも開始早々に列ができ、10分足らずで完売しました。売上金は熊本地震の被災地に義援金として送る予定です。

環境保全米についてのアンケートに答えてもらい、切り餅などが当たる抽選会も実施。5回に分けて合計約100人が参加しました。



笑顔でおにぎりを手渡すライシーレディの猪股さん

5. 県内5JAの青年部が「農魂祭」。農業復興と消費者へ感謝の思い伝える

宮城県内の5JA（仙台、名取岩沼、加美よつば、あさひな、いしのまき）の青年部は7月23日、仙台市の勾当台公園市民広場で「農魂祭」を開きました。東日本大震災からの農業復興と、それを支えてくれた消費者



イベントに結集した県内5JA青年部のメンバー

へ感謝の気持ちを伝えようと開催してきたもので、今年で4回目。今回は「～おらほの自慢の農産物、仙台に集結！～」をテーマに、県内各JA自慢の農産物や特産品を持ち寄り、消費者に農業

の魅力をもPRしました。

目玉イベントの「軽トラ市」では、各JAが軽トラックの荷台に、とれたての旬野菜や地域の特産品などを積み込み、限定価格で提供しました。

農魂祭実行委員会の遠藤利文委員長は「年々回を重ねるごとに青年部の結束が強まっている。大勢の方に自慢の農産物を振る舞えてよかった」と笑顔で語りました。

6. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第59次請求

JAグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会は7月29日、第59次請求として東電に6,820万円を請求しました。

内訳は、牧草の利用自粛等にかかわる4,507万円、牧草地の除染にかかわる損害が2,295万円、廃用牛の出荷停止等の損害が19万円となっています。

以 上